

## 平成30年度 第1回宇和島市総合教育会議会議録

- 1 開催日時 平成30年12月5日(水) 15:00～16:15
- 2 開催場所 宇和島市役所 801会議室
- 3 出席者 宇和島市長 岡原文彰、教育長 金瀬聡  
教育委員 高山俊治、木下充卓、弓削由美子、浅井敬司、田村裕子

総務部長 藤田良  
教育委員会事務局  
教育部長 上田益也、教育総務課長 横山泰司  
教育総務課 課長補佐 土居弘、教育総務課総務係長 山口真史  
学校教育課長 野田克己、生涯学習課課長補佐 内升幸記  
文化・スポーツ課長 西川啓之、人権啓発課長 山本利彦  
学校給食センター所長 家藤芳仁

1. 開会	
上田教育部長	<p>師走のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。ただいまから、平成30年度第1回宇和島市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>本日の進行役を務めます、教育部長の上田です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは開会にあたりまして、岡原市長からご挨拶お願いいたします。</p>
2. 市長あいさつ	
岡原市長	<p>本日は、ご多忙の中、ご出席をいただき、まことにありがとうございます。</p> <p>今年度1回目の総合教育会議でございます。通常は年2回開催いたしまして、みなさんと膝を突き合わせて、いろいろなお話ができるのですが、ご承知のとおり、7月豪雨のためになかなか開催の目安をつけることすら難しかった状況が続いたわけでございます。この点につきましては、まずもってお断りさせていただきたいと思っております。</p> <p>今回の会議では、宇和島市教育大綱の見直しについて協議することとなっております。ご承知のとおり、平成26年度の教育委員会制度改正によりまして、大綱の策定が義務付けられ、本大綱は平成27年11月に策定したものでございます。この対象期間の終わりが今年度であり、見直す時期となっておりますので、見直しの進め方などについてご意見をいただけたらと思っております。</p> <p>また、来年度における主要な施策についても協議することとなっております。現在、来年度当初予算の編成時期であり、教育委員会においても来年度の事業等について検討しているところであろうと思っておりますけれども、そこで、来年度の主要な施策についてご説明することとしておりますので、貴重なご意見等をいただけたらと思っております。</p>

	<p>教育長はじめ教育委員の皆様方におかれましては、宇和島市の教育の更なる充実のために、忌憚のない意見を出していただきたいと思いますので、どうぞ限られた時間ではありますが、よろしく願い申し上げます。</p>
<p><b>3. 教育長あいさつ</b></p>	
上田教育部長	<p>ありがとうございました。 続きまして、金瀬教育長より、ご挨拶申し上げます。</p>
金瀬教育長	<p>私はこの4月に教育長に就任いたしまして、初めての総合教育会議でございます。市長との間で、このような会議がもてますことを大変ありがたく感じております。この4月20日に市内の小中学校の先生はもちろんのこと、幼稚園、保育園、それから公民館の方等々含めた、この地域で教育に携わる総勢600人に及ぶ方々が城北中学校に一堂にお集まりいただきまして、その時に、ここから先こういうことを意識して取り組んで参りましょうということで、今後の教育に関する課題の認識3つと取組みの方向性について共有したところであります。その中身がこのペーパーですけれども、これまで再々いろいろな場所でお話しさせていただける機会をいただく度に、多くの市民の方と認識を共有したいということで申し上げ続けてきたことではあります。世の中が大きな変化の節目に来ています。ポイントとしては3つ、1つは少子高齢化、人口減少の進展、2つ目は第4次産業革命による超スマート社会、ソサエティ5.0と言われているようですけれども、そういうものが到来しますと。そして3つ目は人生100年時代が来ていると。そういうことを私たちは意識したい。そのうえで、そういった変化を踏まえた取組みの方向性として4つ、1つは愛郷心をつくっていきましょうと。2つ目は変化する社会を見据えた生きる力、21世紀型の能力と言われているものを持たせてあげるようにしましょう。そして3つ目は学校・家庭・地域が連携して取り組んでいきましょうと。中でも学校に特に視点を当てた場合は、地域と共にある学校、そして社会に開かれた教育課程、そういうものに取り組んでいきましょう。そして4つ目は働き方改革、それも単に勤務時間を短くすれば良いというような現象面だけを捉えるのではなくて、新しいチャレンジに向けた余力を生み出せるようにやっていきましょうと、そういうことを申し上げてきました。若干協議の内容に触れるようなことになるかもしれませんが、具体的に今現在、教育委員会事務局で取り組んでいる仕事の中身については後ほど事務局から細かな説明があろうかと思っておりますけれども、この4月以降の大きな動きがいくつかあります。かいつまんでご紹介したいと思っておりますけれども、大きく分けると3つありまして、1つは今年度に入って、国がいくつかの基本計画を策定しております。そういった国の計画を踏まえた県の方針、そういったものを参酌して自治体としても計画を定めることになっています。この点が1つ。2つ目は中央教育審議会です。いくつかの答申がなされていますが、今後そういった方向性についても意識しておく必要があるだろうと。3つ目はその他として、今年度いくつかの方針が国からも示されております。そういったことを今後の大綱見直しにあたっては意識する必要があるだろうと。もう少し踏み込んで申し上げますと、国が策定した基本計画、今年度に入ってからということですのでけれども、3つありまして、1つは6月</p>

	<p>に閣議決定されたものなのですけれども、第3期教育振興基本計画というのがあります。これを踏まえて自治体ごとの教育振興基本計画を作ることとされています。今の段階で宇和島市教育委員会としては具体的に作成する作業に入りこめていない実情があります。7月以降ここまで災害対応に追われていたということもあってのことではありますが。その他に2つありますが、文化芸術推進基本計画、これも6月に閣議決定されました。自治体もそれを見ながら計画を作りなさいという努力義務が課せられています。それと地方スポーツ推進計画、これもスポーツ庁からそういった指示がでています。これは1点目の国が策定した基本計画等を踏まえてということなのですけれども、2点目の中央教育審議会の答申等を踏まえたという切り口で言いますと、平成28年1月に「次世代の学校・地域」創生プランというものが文科大臣から決定として出されていますが、その背景には3つの審議会での答申が盛り込まれています。そういったものを受けて29年4月に地域学校協働活動の推進ですとか、コミュニティ・スクールの推進、地域に開かれた教育課程の構築といったものも法律で努力義務が謳われています。それから2つ目は先ほどの定例教育委員会の中でもご案内したのですが、この年内に人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策についてという、これもかなり中身のある答申がでることとされています。これを受けるような形で、もしかすると宇和島市としての生涯学習推進計画みたいなものを作っていく必要があるかもしれない。そういう認識を持っています。それから少しグレードは下がるのですが、文科省、厚生労働省からいくつかの通知が来ています。具体的には3つなのですけれども、今年5月に教育と福祉の一層の連携等の推進についてというものがでています。それから2つ目として、これは7月ですけれども、子ども食堂の活動に関する福祉部局との連携について、こういう通知もでています。9月には新放課後子ども総合プランについてというものもでています。いわゆる放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携を図ることを検討してみたらどうなのかというそのような通知です。いずれも縷々申しあげました大きな方針は、今年度になって出されたものであります。従って、次期の教育大綱を検討するにあたっては、これまで、そして現在、教育委員会事務局が抱えているものと、今申しあげましたような大きな方向性も視野に入れたうえで向こう4年間なりの大綱を作っていく必要があるかなと、そういう認識であります。特に後半申しあげた諸々の大きな方向性については、今の段階でなかなか着手できていないみたいなので、そういったことも踏まえて今日の協議の場では、今後の大綱をどんな形で見直しをしていくかと、主にスケジュールの話になるかもしれませんが、ご検討いただけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p>
上田教育部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからは、宇和島市総合教育会議運営要綱の規定によりまして、岡原市長のほうに進行をお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>4. 協議事項</p>	

岡原市長	<p>それでは、早速協議を進めてまいりたいと思います。</p> <p>協議事項の（１）宇和島市教育大綱の見直しについて、事務局、説明お願いします。</p>
土居教育総務課課長補佐	<p>市長。教育総務課課長補佐の土居と申します。宇和島市教育大綱の見直しについて説明させていただきます。着座にて失礼いたします。</p> <p>お手元の資料、右上に資料１と記入した資料をご覧くださいと思います。宇和島市教育大綱の見直しについてでございますが、大綱の見直しの時期にはなっているのですけれども、今回の総合教育会議では実際に見直すのではなく、見直し時期についてご協議いただきたいと考えております。まず１番目、宇和島市教育大綱の策定というところで、ここでは、まずは現行の大綱策定の経緯及び対象期間について説明させていただきます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律というのがありまして、その第１条の３第１項では、「地方公共団体の長は、教育振興基本計画の基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとする」というように記載されております。この規定に基づきまして、宇和島市教育大綱を平成２７年１１月に策定しておりますが、その対象期間としましては、平成２７年度から平成３０年度までの４年間としております。これは、宇和島市総合計画と国の教育振興基本計画の対象期間が平成３０年度から新たに始まることから、この新しい計画に基づきまして、平成３０年度を見直し年度として対象期間を設定したところでございます。参考としまして何点か下に書いておりますが、まず宇和島市教育大綱における期間ですが、本大綱には平成２７年度から平成３０年度までの４年間とすると、ただ、今後の社会情勢の変化等により必要に応じて、宇和島市総合計画との整合を図りながら、適宜見直しを行いますと記載しております。全文につきましてはこの資料の後ろに大綱を添付しておりますので、またご確認いただけたらと思います。この大綱が対象とする期間につきましては、法律には特に定められておりませんが、地方公共団体の長の任期が４年であることとか、国の教育振興基本計画の対象期間が５年であることに鑑みまして、４年から５年程度が想定されているということにされております。そして、国の教育振興基本計画、第２次宇和島市総合計画ともに平成３０年度から始まるということで、このように、本大綱の対象期間は平成３０年度までとしておりまして、現在、見直しの時期が来ているという状況でございます。</p> <p>そして２番目に、宇和島市教育大綱の見直しというところを見ていただけたらと思いますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、第１条の３第２項では、「地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、次条第１項の総合教育会議において協議するものとする」と記載されております。対象期間の満了及びこの規定に基づきまして見直しをしていくわけでございますが、国の第３期教育振興基本計画を参酌し、まちづくりの指針を示しました本市の最上位計画であります第２次宇和島市総合計画との整合を図りながら見直す必要があります。本来でありましたら今年度に見直すべきところではありますが、本大綱は今後４、５年の当</p>

	市教育の大きな方針となるため、見直しには慎重な議論が必要であり、今年度という短期間での変更はなかなか難しいと思われます。そのため、宇和島市教育大綱の見直しにつきましては、2019年、つまり来年中をかけて実施してはどうかと考えているところでございます。以上で説明を終わりますが、大綱の見直し時期につきまして、皆様にご協議いただきますようよろしくお願いたします。
岡原市長	説明が終わりました。時期についていろいろな要素を説明してもらいましたが、来年度中に議論を深めてから見直すべきではないかということでしたが、何かご意見はありませんか。
高山委員	事務局の提案どおり、2019年度中に時間をかけてきっちり案を練るということで良いのではないかと思います。
岡原市長	2019年度に議論し、議論の深まりによっては2020年度の4月1日からということも含めて2019年度に議論するという意味合いで構いませんか。
高山委員	前回は11月に作成したので、例えば10月に決まればその時に1月からにするか、4月からにするか決めれば良いと思います。
岡原市長	今、このような意見がありました、どうですか。浅井委員さんどうですか。
浅井委員	質問になるのですが、今の教育大綱が今年度に一旦切れるわけですよ。2019年度に審議をして2020年度からとなると2019年度中の1年間はどうかかなという。
岡原市長	事務局説明よろしいですか。
土居教育総務課課長補佐	その間の期間につきましては、本大綱を延長させた形で運用させていただきたいと考えております。
岡原市長	延長するという何を何かで宣言しないで自動的に、2018年度までが2019年度までというように文言上はなると思いますが。
金瀬教育長	大綱の中身と期間は公表しているものですし、何らかの形で次の大綱が示せる状況がくるまで当面は延長しますというアナウンスは何らかの形で必要かなとは思っています。
岡原市長	浅井委員さん、今のルール上の精査はすることと、公に延長することを示さるべき方法で宣言するという整理していただけたらと思います。
浅井委員	大綱では期間について4年間とすると明言されているので、本来であれば4年目に検討してですよ。これがベストだったと思いますが。
岡原市長	事務局にこの考え方を一度整理させることと、あらためて2018年度までと謳っている点について、何かしら効力が及ぶ形を整理するというところでよろしいでしょうか。
浅井委員	内容の検討については慌てて作ってもまた見直さなくてはいけなくなるので、それについては高山委員さんが言われたような感じで再来年度4月には教育推進大会で発表できる形が良いのかなと思います。
岡原市長	田村委員さんありませんか。
田村委員	見直しは慎重に行ったほうが良いと思いますので、春から秋にかけてじっくり議論をしていったほうが私も良いと思います。
岡原市長	弓削委員さんはどうですか。

弓削委員	私も同じです。
岡原市長	木下委員さんはどうですか。
木下委員	私もじっくり審議して決めたほうが良いと思います。
岡原市長	結論を出して次に移ったほうが良いですか。
横山教育総務課長	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第2項に、地方公共団体の長、つまり市長は大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ次条第1項の総合教育会議、この会議において協議するものとするとしてありますので、対象期間は平成30年度までと決めているのだけれども、今日この場で慎重に考えるべきということで延長を決めれば延長はできるという解釈でよろしいかと思えます。
岡原市長	今皆様の意見をお伺いしたところ慎重に審議すべきというご意見を承った中で2018年度からしばらく時間をおいて議論していくということを宣言すれば良いということですか。
横山教育総務課長	それで良いと思います。
岡原市長	事務局から説明がありましたとおり、資料1の2番のところ、大綱を変更しようとする時は、あらかじめ総合教育会議において協議するものとする文言がありますので、先ほど皆様すべての方にご意見をお伺いし、やはり慎重に大綱は整理すべきと、議論を深めて整理すべきというご意見を伺った中で、今回の大綱というものは今年度末でその期限を迎えるところではございますけれども、その議論中におきましては、やはりその大綱のままで活用しながら、しかるべく議論を深める中であらためて新たなものに変えていくということで延長することを提案いたしますが、それでよろしいでしょうか。
総合教育会議	はい
岡原市長	2018年度末の期限を延長するというところでよろしくお願い申し上げます。
岡原市長	それでは次に、協議事項の(2)平成31年度宇和島市教育委員会における主要な施策について、事務局、説明をお願いします。
横山教育総務課長	<p>市長。教育総務課の横山と申します。着座で説明をさせていただきます。それでは協議事項(2)の平成31年度教育委員会主要事業について、これから各所管課長より、それぞれの事業内容並びに事業効果について説明をさせていただきます。質疑等につきましては一括で一番最後をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、資料2をご覧ください。資料2の表の見方でございますけれども、新規事業を赤字で記載しているところでございます。新規事業については、より丁寧にご説明したいと考えております。それでは教育総務課分のNo.1からNo.5の事業をご説明いたします。</p> <p>No.1 学校空調設備整備事業についてでございますけれども、これにつきましては、今、旬のお話で皆様の関心が高いところかと思えますが、現在、国も臨時特例交付金の事業として、平成30年度の補正予算を可決しまして、全国的にも学校空調設備をどこの自治体も一斉に着手しているところでございます。県から今朝、内示のメールをいただいたところでございます。当市におきま</p>

しても、臨時交付金を最大限に利用し、少しでも早く学校の普通教室と特別支援教室、そして必要な特別教室の全ての教室にエアコンを整備しようとする整備計画を前倒しすることとし、現在会期中の12月市議会においても、12月補正予算として整備工事費と設備設計委託料の両方を予算計上しているところでございます。整備計画のスケジュール案につきましては、市長協議の時にもご説明しておりますし、先般の教育委員会でもご説明したとおり、中学校は既に整備済みでございます、残りの小学校28校につきましても、統廃合計画の有無とは切り離しをしまして28校全ての小学校を3つのグループに分けて、遅くとも2020年6月から7月までの暑くなる時期までに、28校全ての小学校の整備を完了したいと考えているところでございます。年明けてすぐにこのエアコンについては、全国で一斉に整備が始まりますので、出遅れて整備計画に遅れがでないように関係部署と協力して実施をしていきたいと考えているところでございます。

次にNo.2のブロック塀改修事業についてですが、これも先ほど同様、国の臨時交付金の対象事業でございますが、今年度は危険と判定しました番城小学校、住吉小学校、吉田小学校、玉津小学校と一部の教員住宅を9月の補正予算で予算化し、現在、工事に着手し、今年度中に重たいブロック塀から軽量の目隠しフェンス、もしくはネットフェンスに改修工事を完了する予定でございます。そこで、今年度に危険判定まではでなかったものの、注意判定の遊子小学校、三間小学校、二名小学校、畑地小学校、津島中学校の5校につきましては、建設課及び建築住宅課と相談したうえで安全側で判断し、先ほど同様、ブロック塀の撤去をし、フェンスへの改修をしようと計画しているものでございます。

次にNo.3の学校防災機能強化事業でございますが、これは一昨年度から実施しておりますけれども、校舎内の木製の内部建具の改修工事でございます。昨年度は高光小、昨年度と今年度に和霊小で内部建具の改修工事を実施しております。来年度は住吉小学校の内部建具の改修工事を実施する予定で、これで市立学校の木製の老朽化した建具については全て改修が完了する見込みでございます。この木製建具改修は地震等で倒壊の危険を防ぐためだけではなくて、先ほどのエアコンの空調効率にも寄与するものでございます。

次にNo.4の学校プール改築事業については、本来は今年度実施予定でございました岩松小学校と城南中学校の老朽化したプールの改築工事でございます。7月豪雨災害において、解体工事の入札、契約まで完了していたのですが、災害復旧工事に全力を挙げるため、また請負業者においても災害関連で請負業者が出てこないということで入札不調の可能性もあるという判断の中で、丸1年間事業の実施期間を先延ばししたものでございます。

最後にNo.5のICT教育推進基本計画策定業務でございますが、これは新規事業でございます。これにつきましては、これまではICT教育の環境整備につきましては、現場の先生の意見を聞きながらタブレット端末の導入であったり、デジタル教科書、天吊り型プロジェクターの整備、無線LANの整備など、教育総務課の担当者と学校教育課の指導主事の先生が校長会の意

	<p>見を聞いたり、学校の情報主任の先生の意見を聞きながら、来年度はこれを整備しましょうというように単年度ごとに整備を進めてきた経緯がございます。また、校務支援システムの導入に至っては、私が教育総務課に異動した5年前から導入の必要性をうたえてきたのですけれども、岡原市長就任後に着手できた経緯もございます。したがって、今後、ICT教育の推進については、国の第3期教育振興基本計画に基づいた宇和島市にとってより効果的で、かつ現実的な推進整備の計画を文教系、ICT系のコンサルタント業者に支援業務を委託し、きっちりとしたICT教育の基本計画を策定しようとするものでございます。現在、他市の推進計画の業務委託を参考に参考見積書を徴取しているところで、今月中に資料を整理し、市長査定までには予算要求額をあげたいと思っているところでございます。以上が教育総務課の31年度の主要な教育施策でございます。</p>
<p>野田学校教育課長</p>	<p>市長。学校教育課の野田です。座って失礼します。No.6、7、8について説明いたします。UWA J I M A ジョブチャレンジU15スタートセッション、今年度も年度途中の計画ではありましたが、こういった形の新規事業ではなかったのですが始めさせていただきました。来年度は正式に新規事業という形で、職場体験学習に参加する中学生を一堂に集めてスタートセッションを開催したいと考えております。こうすることによって、ただ働くということを考えるだけではなくて、働くことに対する意識というものを高めていきたいと、またそれに参加した小学校の関係者が小学校からのキャリア教育の見直しについても今考えはじめ、もう一度年間計画なども見直しをしているところでございます。</p> <p>No.7の子ども支援教室「わかたけ」改築事業ですが、この「わかたけ」については不登校対策の拠点となる適応指導教室の総称で「わかたけ」と呼んでおります。建って50年余りが経った建物ではあるのですが、来年度の予算の中で測量、設計、試験費等を計上いたしまして改築に向けての環境整備を整えていこうと思っております。その中で福祉課とも連携する中で、発達支援センターとの関係も踏まえながら、どういう建て方でどういう形が良いのかということも現在、福祉課と連携しているところでございます。今年度から周辺の3町からの子どもの受入も行うようになり、「わかたけ」も午前中の活動から午後の活動時間へも延ばしました。そうすることによって、復帰する学校に少しでも教育課程が近づいたというように私は考えています。これが学校現場への、学校への復帰ということに少し繋がるのではないかなと期待するところではあります。</p> <p>No.8のコミュニティ・スクールにつきましては、地域とともにある学校づくりを進めていきたいと、その中で学校と保護者と地域住民が一緒になって熟慮、議論、協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支えるという形のコミュニティ・スクールを、31年度を中心になんとか校長の求めに応じた形で指定をしていきながら、教育委員会として支えていきたいと考えております。今度の1月に行われます校長研修会の2部の部では、各校の校長、教頭、教務主任が一堂に集まりまして、スタートしていくうえでの、より具体的なところについて話し合いをする予定にしています。学校教育課からは以上で</p>

	す。
内升生涯学習課課長補佐	<p>市長。失礼いたします。生涯学習課の内升と申します。No.9 から 14 について簡単にご説明申し上げます。</p> <p>No.9 の新規事業でございますが、生涯学習センター管理事業でございます。先ほど、教育委員さんへはご説明させていただきましたが、平成 31 年 4 月 6 日供用開始予定の駅前複合施設、正式名称が「宇和島市学習交流センター」、愛称が「パフィオうわじま」でございますが、その 1 階部分に設置されます生涯学習センター、1 階にカフェがあり、それは除きますが、その管理運営にかかる事業でございます。生涯学習センターにつきましては、民間の企画力やネットワークを活用することによりまして、生涯学習の更なる推進を図る、そして学習意欲を増進する多彩な講座の開講でありますとか、ホールや多目的室を利用した市民の発表の場を提供し、駅前の賑わいを生む趣向を凝らした事業の展開が期待できるものでございます。今申し上げましたのは生涯学習センター1 階部分でございますが、建物全体の簡単な概要を申し上げますと、1 階が生涯学習センターで、観覧席 289 席を備えつけておりますホールがございまして、これにつきましては可動観覧席でございまして、壁にイスが移動してフラットな状態になる設えになっております。あと、ホワイエですとか、防音設備を兼ね備えた音楽・演劇練習室ですとか、同じく防音施設を備えたスタジオなどがございます。そして工作作業などにも使えます自由工房なども備え付けております。2 階、3 階は図書館になります。ざっくり言いますと、2 階が一般書架で約 4 万冊、そして地域資料コーナーであったり、レファレンスコーナーや自習室なども備え付けております。3 階部分が児童書架を約 2 万 1 千冊備え付けまして、ミセスコーナーですとか、これは婦人雑誌や子育て雑誌、そして寝転コーナーということで、児童や乳幼児を、親子一緒になって寝転んで本を読んであげる等、そういったスペースも備え付けてございます。あと、周辺住民 1600 人くらいの避難を想定した備蓄倉庫も設えております。4 階部分が子育て世代活動支援センターといひまして、一時預かり室ですとか、育児関係の相談室、あと多目的室ですとか屋外遊戯場も備え付けております。</p> <p>続きまして、No.10 でございますけれども、これは 31 年度事業ではございませんが、30 年度事業で参考で載せさせていただきました。和霊公民館の改築事業ということで、今の和霊公民館が昭和 50 年 4 月に建築されており、43 年が経過しているので老朽化も激しく、手狭であるということで旧勤労青少年ホームの跡地へ移転改築をいたします。これにつきましては 12 月議会で上程させていただきました、年明けから着工の見込みでございます。</p> <p>そしてNo.11 の図書館事業です。これは堀端にあります中央図書館が駅前に新設されるパフィオうわじまの 2 階、3 階に移転することに伴う図書館事業の充実ということになります。主な特徴といたしましては、本の全てに IC タグというものを備え付けておりまして、本が自動で貸し出しができるとか、自動で返却ができるとかで利便性が向上いたします。そして、ブックポストによる 24 時間の返却が可能になりますし、IC ゲートというのが、要は建物の入り口が 3 か所ございますが、そこに貸し出しの手続きをせずに持</p>

ち出そうとしたら所定の手続きがとられていないということで対処が  
きる、盗難防止を図るということでございます。そういった設えをしており  
ますので、施設管内であれば図書館以外でも自由に読んだりできる  
ところが特徴かと思えます。

そしてNo.12 の災害復旧工事、これは立間公民館に関する復旧工  
事でございます。今現在、今年度の災害復旧予算において、清掃や消毒、  
電気系統の復旧など諸々してはいますが、まだ1階部分の復旧には程  
遠い状況でございまして、公民館施設としての機能を十分にもた  
して、地域住民の社会教育の拠点施設として復興にかけるとの予  
算としてあげさせていただいております。主な内容といたしましては、  
被災した1階部分の内装復旧工事、空調設備工事費を上げさせてい  
ただいております。

No.13 のうわじま土曜塾運営事業でございます。これは今年度  
から宇和島市が直営で実施しております、家庭環境や経済状況など  
様々な理由で学習習慣が身につけていないですとか、そういう児童  
生徒を対象に地元の教員OBや塾講師など、地域の人材により学習  
習慣を身に付けさせる、勉強の分かる楽しさや喜びを感じていただ  
くために、毎週土曜日ですけれども頑張っているところです。31年  
度の予定といたしましては、土曜塾としては年間45回の開催を予  
定しております、その中には地元の方を講師として招いた体験学  
習ですとか、そういったことも経験していただくことによって、地  
元愛の醸成であったりしたことにも繋げていければと考えており  
ます。

そしてNo.14 の結婚推進事業、これも総合戦略事業の一環とし  
て実施しておりますけれども、一つは出会いの場創出事業というこ  
とで婚活イベントの開催を行います。宇和島圏域ということで、宇  
和島市のみならず鬼北町、松野町、愛南町も範囲として取り込ん  
でいって、婚活イベントを民間の感性を取り入れた業者にイベン  
トを実施してもらうということです。これについては今年度、年間  
4回ほど予定してはいたのですが、1回目が8月25日に予定をし  
て人も集めていたのですが、豪雨災害の影響がありまして中止に  
なったり、愛南町で12月16日に業者のほうで企画をしてもら  
っていたのですが、なかなか人集めに苦慮をしておりますね、現  
実的に人数が集まらず、結果的には中止という形で、成果として  
は不透明なところがあるのが正直なところです。今年度に関して  
はですね、もう一つは結婚支援事業ということで、MIセンターに  
設置しております結婚推進委員を圏域、いわゆる鬼北、松野、愛  
南町の方々にもご協力をいただいて結婚推進委員として入って  
いただくと、そういった中で出会いの機会を増やして、お引き合  
わせの増加も見込まれ、成婚の数も増えるのではないかといい  
て実施しているところです。参考までに、今、MIセンターの全  
体の登録者数というのがちょうど300名おまして、男性が206  
名、女性が94名です。今年度4月から11月30日までの期間に  
おける登録者数というのが33名、お引き合わせの実績が33組、  
成婚が7組という実績となっております。これにつきましても  
圏域を広げたから、この数字が大幅に増えたのかということに  
はなかなかそうではなくてですね、だいたい横這いの流れにな  
っております。以上、簡単ではあります、ご説明を終わります。

西川文化・スポーツ課長

市長。文化・スポーツ課の西川と申します。座って説明させていただきま  
す。文化・スポーツ課はNo.15 から 27 までであります。申し訳ありませんが、  
主要な事業を全事業掲載させていただきましたので、少し長くなっておりま  
す。また、予算査定前の事業内容となっておりますので、中には検討中であ  
たり、実施できないものもあつたり、内容の変更があるかもしれないので、  
その点ご了承いただきたいと思います。また件数が多いので主要な部分だけ  
ご説明させていただけたらと思います。

それではNo.15 の伊達博物館改築事業をご覧くださいと思います。皆  
さんご承知のように、伊達博物館は昭和 49 年に建築されており老朽化が著  
しく、特に半地下にある機械室に関しましては警報がでるような大雨では結  
構浸水することが多々あるということで、大切な作品を守るためには改築が  
必要だということで、今年度から先ほどもお話ししたとおり、検討体制をつ  
くっております。来年度に関しましては、建替委員会や基本計画の策定の予  
算を計上し進めて参りたいと考えております。

No.20 をご覧くださいと思います。吉田国安の郷フリーマーケットイ  
ベントということで仮称なのですが、こちらに関してはご承知のように、吉  
田国安の郷も今回の 7 月豪雨で大変被災を受け、大変な状況となって、今職  
員が一生懸命復旧に向けて頑張っているところですが、来年度、できました  
ら早々な時期に、イベントの内容、コンセプトはまだ検討中なのですが、元  
気になるような催しをしたいというように考えております。

続きましてNo.23 ですが、キッズミュージカル「油屋熊八」公演事業とい  
うことで、ご存知のように宇和島市出身の別府観光の父と言われる油屋熊八  
さんの別府市の小中学生が先般作られたということで、今年の 5 月にもわ  
ざわ墓参いただいて、そのミュージカルを披露していただいたところでござ  
います。そういったご縁を機に、市民文化祭の関連オープニングとしてお呼  
びしてはどうかということで企画したものでございます。

続いてNo.24 ですが、宇和島 P R 歴史動画作成委託ということで、平成 30  
年 4 月に松平定知氏をお呼びして、明治 150 年のかわきりの歴史講演会をし  
ていただいたのですが、その時の録音データを録らせていただいております  
ので、宇和島の古写真や動画を合わせて新たな歴史動画として、最終的に  
は市内の小中学校とかで郷土学習に役立てていただきたいというようなこ  
とで事業を企画しております。

No.25、郷土愛育成事業でございます。こちらのほうは 28 年度からの総合  
戦略の一環でスタートしたもので、来年度で 4 年目になるものでございます。  
宇和島城の天守を会場にして模擬の合戦を行って、子どもさん達に賑わっ  
ていただこうと、郷土のお城を学んでいただこうという企画でございます。下  
半期は宇和島さんさと能に触れる出前講座を予定しているところです。継続  
事業となっております。

No.26、岩松地区町並み保存事業でございます。こちらに関しては岩松地区  
の伝統的建造物群保存地区制度の導入に向けた必要な手続きや、保存計画を  
策定するための地区内の建物の調査を来年度実施していきたいということで、  
今年の 7 月に地元の団体が新しく生まれ変わって、そういった団体と行

	<p>政が連携して指定に向けて推進していきたいというように力を入れております。</p> <p>最後なのですが、No.27、未来のトップアスリート育成事業ということで、宇和島から全国、世界へと活躍するトップアスリートを育成しようということで、市内の子どもたちや指導者が世界のトップアスリートや有名指導者と触れ合えるような機会を作ってはどうかというように企画をしております。現在、市のスポーツ協会のほうにご依頼、協議を申し上げているところで、こういった種目でというのはまだご説明できない部分ではあるのですが、今後4月までに進めていって、きちっとご提案できるような形にしていきたいというように考えております。文化・スポーツ課からは以上です。</p>
山本人権啓発課長	<p>市長。人権啓発課の山本です。よろしくお願いたします。人権啓発課は絞りすぎてNo.28 だけということになってはいますが、簡潔に説明いたしますのでよろしくお願いたします。人権啓発ビデオメッセージ制作事業については、事業概要といたしまして、児童生徒などの人権意識の向上並びに地域住民の皆さんへの人権に関する制度・知識の周知を目的として、市内の小中学校の児童生徒が人権をテーマに人権啓発ビデオメッセージを企画、立案、制作したものを宇和島ケーブルテレビで放映するものです。本年は三間高校にご依頼しております。来年度につきましては、旧宇和島市内の小中学校を予定しております。三間高校で制作できたものを来年度、週4回、内訳は1日12回の放送が2日、1日22回の放送が2日、これを12週放送して、合計816回の放送予定でございます。来年度の予算については、報償費、委託料、印刷製本費など、事業費は県からの委託費で全て賄うようになっております。以上簡単ではありますが、人権啓発課の事業について説明させていただきました。</p>
家藤学校給食センター所長	<p>市長。学校給食センターの家藤です。よろしくお願いたします。給食センターはNo.29 と 30 の2つの事業をご説明いたします。</p> <p>まずNo.29 の総合戦略事業で実施しております学校給食費負担軽減事業をご説明いたします。これは事業内容といたしましては、学校給食費1食につき100円の補助をしております。また、アレルギー等により弁当を持参している児童生徒に対しても100円を補助するものでございます。効果といたしましては保護者の経済的負担を軽減する、そして子育て支援のしやすい環境の拡充を図るということで効果があるものと考えております。31年度も継続して実施したいと考えております。</p> <p>続いてNo.30 の学校給食地産地消推進事業について説明いたします。この事業は地元食材を使用した、1食につき50円を限度に補助金を交付するものです。また、1年に1回、3学期にぶりの照り焼きを使用した特別給食を実施しております。以上です。</p>
岡原市長	<p>説明が終わりました。今ほど事務局から平成31年度宇和島市教育委員会における主要な施策についての説明がありましたが、この件に関しまして、ご質問・ご意見等がありましたらお願いたします。</p>
高山委員	<p>No.27 の未来のトップアスリート育成事業なのですが、件数とかはあるのですか。</p>

西川文化・スポーツ課長	件数に関してもまだなのですけれども、今回は初めてなのでモデル的に実施をしたいというようには考えております。
弓削委員	子どもたちというのは何歳からというのがあるのですか。
西川文化・スポーツ課長	小中学生を対象としています。市のスポーツ協会さんと連携してしたいと考えておりますので、まずはスポーツ協会に加盟されておられる種目ということになっていこうかと考えております。
弓削委員	友だちなども楽しみにしているのでよろしくお願いします。
西川文化・スポーツ課長	どの競技になるかは母体となるところとの協議や金額の制約もあるでしょうし、時期的な制約もあるかもしれませんので、いつ、どこで、何をするというのは今の段階では言いにくいのでご了承いただければと思います。
高山委員	明日、卓球協会の理事会で方針を決めることになっているのですが、スポーツ協会が各競技団体からあげさせて、それを文化・スポーツ課で協議して決めるということですか。
西川文化・スポーツ課長	先般のスポーツ協会の理事会の中でもご説明はしたのですが、少し雲をつかむような話なのでというようなことだったので、企画書みたいな形ですね、うちはこういった形でしたいというようなことをしてはどうかと考えてはいるのですが、やはり有名な、金額によって東京から呼んだり、県内から呼んだりということがあるでしょうし、ある程度パターンのものを少しお示しして、スポーツ協会の理事会にでもご出席させていただきご説明したいというようには考えております。
岡原市長	子どもを教える指導者のために使う使い方も良いですし、子どもたちに直接でも良いですし、まだいろいろ考え方を整理しているところだと思います。 浅井委員さん何かありませんか。
浅井委員	No.9の生涯学習センターですが、4月6日がオープンと言いますか、こけら落としのようなイベントがあるようでしたら簡単に教えていただけたらと思います。
内升生涯学習課課長補佐	4月6日にまず記念式典を計画しております。ご協力いただいた地元の自治会ですとか、建設に携わっていただいた方ですとか、そういった方々へ感謝状の贈呈であったり、ホールの緞帳をデザインしていただいた大竹伸朗さん、世界的に有名な方なのですけれども、そのような方をお招きしてのご披露であったり、それが終わってから宇和島、旧3町を含めた郷土芸能の披露がありまして、その後、午後から一般開放という流れに計画としてはなっていたと思います。夜からはオープニングイベントということで、宇和島を元気にということ、音楽で元気にですとか、笑いで元気にということ、音楽はミニコンサート、笑いで元気には宇和島出身のポップマンほか、お笑い芸人を呼んでですね、笑って元気になってもらおうということを想定しています。4月の中頃から後半にかけては宇和島芸術祭ということで業務を委託している美術協会、宇和島にゆかりのある方々のいろいろな作品を展示したりですとか、その開館中に休みが2日ほどあるので講演会を想定しています。朗読会であったりとか、赤ちゃんハイハイ選手権ですとか、そういった市の

	主催事業としてのオープニングイベントとして想定しているところです。
浅井委員	今言われたようなことは、例えばチラシで周知するのですか。
内升生涯学習課課長補佐	それは今後、作っていくようになると思います。
浅井委員	そんなに先のことではないので、市民の皆様にある程度知っていただいていたほうが、せつかく良い施設ができるので宣伝も兼ねてできたら良いと思います。
内升生涯学習課課長補佐	スケジュールを組んで実施していこうと思います。
岡原市長	他に何かありませんか。弓削委員さんどうぞ。
弓削委員	駅前通りがすごく賑やかになると思うのです。恵美須のフジもオープンして。駐車場のことを心配しているのですけれども、大丈夫でしょうか。近くの方はいいのでしょうか。
内升生涯学習課課長補佐	そこはご指摘を結構受けているところではありますが、駐車場は74台、うち2台が障害者用ということで少ないと思います。実際に仮に大きなイベントとなりますと入りきらないということも想定されますし、出口を出てからの動線もどうなるのかという部分もあるのですけれども、その辺りは今度、総合管理ということで建物全体を管理する業者さんを決めていく中で、そういった時には警備員を配置してなんとか流れるようなことをしてくださいというような仕様に組み込んだりとか、そういったことは考えてはいるのですけれども、オープンしてみないと分からないというところもあるのですが、今のところはそういったことで対応したいと考えています。確かにそこは心配しているところではあります。
岡原市長	土日とかは地方局にも正式にお願いすることにしていくみたいですが、そもそもこれが立ち上がった数年前から駐車場が少し狭いかもかもしれないと、宇和島の場合は限られた土地しかなかないという中で、その当時、駅というキーワードの中で、また川を開放するという方針でされていきましたので、そこは工夫する努力をしていく、それは担当課としてもしていくことだと思っていますので、またご指摘の点等ありましたら言ってください。対応いたします。 木下委員さん何かありませんか。
木下委員	私のほうからはこの資料に載っている事業としてはNo.5のICT教育推進基本計画策定業務なのですけれども、先ほど横山課長から説明がありましたけれども、文教ICT系のコンサルに支援業務を委託し策定するということですが、大きなお金をいれて機器のほうは入ったのですけれども、具体的にどのようなことで進めていくのか分かっている範囲で、もう少し分かりやすく教えていただけたらと思います。
横山教育総務課長	これまで整備したものの利活用も含めて、今現在、宇和島市が整備している状況をコンサルさんに参考見積もりを出していただくのに、例えばタブレットが何台入っていて先生方はこのような使い方をしていますというよう

	<p>なことも情報としてあげていく中で、当然、今後更に端末の更新があと何年後かには必要ですよとか、今後、先生のスキルアップにはこういったことが必要ですよとか、先生の支援をするために人的投入を他市ではしてますよとか、そういったものを文教系のICTの推進計画を策定するノウハウがあるコンサル会社さんも何社かありますので、そういうところに他市の事例を参考に宇和島市にとってより効果的な人的、物的、ソフトウェア的すべて含めた総合的な計画案を作成する業務を委託しようというように考えているところでございます。</p>
木下委員	<p>野田課長にも聞きたいのですが、今現在、学校の先生方はそういう機器を使いこなしているのでしょうか。先生方の業務軽減ということもありますが、その辺りはどうですか。</p>
野田学校教育課長	<p>担当業者とも先日話をしてみたのですが、思っていたよりも校務支援システムの宇和島市の教員の飲み込みが早くて、この点では順調に進んでいるという感じの回答はいただいております。中山指導主事にも確認したところ、その辺りについては、校長会、教務主任会の両部会との連携というものも、その代表者がそれぞれの学校現場のニーズというものをうまくまとめてもらえているので、それに対してピンポイントで手当てができていますので、その辺りで混乱なく進んでいるということでもあります。</p>
木下委員	<p>ありがとうございました。高いお金を出して整備しているので、先生方も使いこなしていただいて、子どもたちにも使っていただけるようにしていただけたらと思います。</p> <p>それと、No.1の学校空調設備整備ですけれども、今回の豪雨災害を受けて吉田町の3つの小学校には普通教室だけですけれども、先んじましてエアコンを整備していただきました。土砂の運搬などで土埃も舞って、また暑い中子どもたちも大変でしたので本当に助かっているという話を先生方や保護者からも聞いております。他の面でもいろいろ公民館にしる図書館にしる、吉田を優先していただきまして、また現在、バス通学で大変助けていただいているところでございます。この中にはありませんけれども、吉田の小学校も統廃合という課題も抱えておりますので、保護者や学校の先生方との懇談会ももたなければならないのですけれども、でてくる事案は統合する場所ということにもなってくると思いますので、その辺りのことを市長さんがどのようにお考えになられているのかをお聞きしたいと思います。</p>
岡原市長	<p>災害前に吉田地区で説明を実施しました。それは教育委員会として懇談会を開催し、概ね統廃合に理解をいただいているのではないかと印象は受けておりました。それで、被災した後にその議論は閉ざされて、年内なるべくという話を、もう一度話し合いの再開を調整してきたのですけれどもなかなか調整できず、12月議会対応等もある中で、1月に入る可能性は高いのですけれども、再開していこうとしているところでございます。私は市長部局なので、議論が熟して来るのを待っているところはあるのですけれども、ここは期限を決めておかないと議論議論で前に向いて進まないのではないかと、つまりこの時期には必ず完成させるというところで、そこから逆算して今何をすべきなのかということを示さないと、議論ばかりをしていると後</p>

	<p>がずれ込んでいくのではないかと今思っています。これは私が個人的に。では場所の問題はどうかと言いますと、山のとっぺんをカットしてできるかという、これはなかなか厳しい問題があります。吉田地域におきまして、今回、仮設住宅を建てる時に、ほぼ水をかぶったところのございます。吉田支所の横に12世帯分建てていますが、あそこも本来難しいけれども解釈でやっとならなければいけませんので、どこに建てても何らかの危険性というものがあるのだらうと。つまり、場所の選定の中で、その議論を深めていくのですけれども、要は高床、城南中の体育館みたいな形で、下は高さを確保したうえで校舎を建てる、それが盛り土なのか、良くご指摘で山の中腹くらいの山を切つてと言われますけれども、特に今回の災害を通して、宇和島市は貯金を持っていて本当に良かったなというのが現実としてあります。今回、財政でかなりそういったものを持ち出ししている現実とも向き合っていかなければならないので、一番良い方法というのはこれから見出されるとは思いますので、その点につきましては地元の方としっかり相談しながら実施していく、これはまさに約束でございますので、またいろいろこちらからもお話しすることについて、地元の教育委員さんとしてのご意見をいただけたらと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。少しまだ十分な段階ではないです。</p>
木下委員	ありがとうございます。
岡原市長	話し合いはいつされる予定でしょうか。
横山教育総務課長	まだ調整中なのですが、やはり年内は難しく1月のできるだけ早めにと いうことで考えています。
木下委員	吉田の住民の方も今回、場所がないということなので、低く平たいところは浸水するし、かといって高いところは土砂崩れがあるということで、完全に安心できる場所はないということは身に染みて分かっているところもありますが、何らかの方法で安全な施設を造っていただけたらと思います。
岡原市長	田村委員さん何かありませんか。
田村委員	この資料の中で私が思うのは、No.26の岩松地区の町並み保存事業についてなのですが、今のところ住民の方からも大きな反対の意見もなく、本当に前向きな姿勢でありますので、ぜひ進めていただきたいと思っております。No.13のうわじま土曜塾なのですが、サポートリーダーさんやサポーターの方が愛南町からお越しいただいているということもありまして、やはり地域の人材を活用しということで、もう少しうまくできないかなと思っております。
岡原市長	サポートリーダーさんも地域の方を活用できないかということですか。
田村委員	サポートリーダーさんも知識を持たれている素晴らしい方なのですが、サポーターの方がもう少し地域の方が入ることができたらなと思います。
内升生涯学習課課長補佐	それは岩松教室の話ですかね。

田村委員	そうです。
内升生涯学習課課長補佐	その辺りの詳細はよく確認させていただいてですね、学生さんが来られているのですかね。
田村委員	その方も愛南町からとうかがっています。
内升生涯学習課課長補佐	よく確認させていただきたいと思います。
岡原市長	他にありませんか。
金瀬教育長	市長。ここに書いているようなことは粛々としていかないといけないことだと思うのですけれども、市長からも話がありました非常に大きな節目を迎えていると思っていますので、拙速に取り組みず、どっしりと構えられるような、いろいろな交渉事の土台にできるようなものを作ればと思っています。
岡原市長	他にありませんか。
総合教育会議	特になし
岡原市長	それでは協議事項につきましては、議論は終えたいと思います。
<b>5. その他</b>	
岡原市長	最後に、その他、せっきくの機会ですので、何かございましたら、よろしくをお願いします。 今回の主要事業、先程の話に戻るわけではないのですけれども、全体像として、教育委員会の方々の思いというものが詰まっているのですよね、先ほど象徴的なのはICT整備をいったん整理しようと、技術はどんどん進んでいるところなので、どこを目指していくのかをいったん整理しようというところで、そこで良いものをしっかり子どもたちにフィードバックしていくというところをしっかりと考えていかれるということを言われましたが、なるほどというところでしたので、そういった意味での整理、整備、必ずそういった時代は来ますので、次に対応しうるお子さん、また先生方に活用できる環境等にしていきたいと思っています。
金瀬教育長	市長、一点よろしいでしょうか。今日のメインのテーマは大綱の見直しということだったと思うのですけれども、大綱の中身を詰める過程で、場合によっては体制の在り方についても触れるかもしれません。そこも頭の中に入れてあります。今この時点で具体的にということがあるわけではないのですが、またそういった中身についても時期が来たらご相談させていただきたいと思います。
岡原市長	他に何かございませんか。
総合教育会議	特になし
<b>6. 閉会</b>	
岡原市長	それでは、以上をもちまして、平成30年度第1回宇和島市総合教育会議を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。